

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「外部の力」と地元の連携によるコミュニティ創生事業
対象地域	岐阜県郡上市白鳥町石徹白地区
活動概要	<p>石徹白(いとしろ)地区は、標高700-800mの山間地にあり、多雨・豪雪地域である。集落までの道路は九十九折で狭隘のため頻繁に通行止めとなり「陸の孤島」と化す。このことから人口減少に歯止めがかからず、過去50年で人口は約1/3に、世帯数も約半数に減少。典型的な条件不利地域である。</p> <p>一方で同地区は、奈良時代に起源を持つ白山信仰の重要な宗教拠点として約1300年に亘り育んできた、有形無形の貴重な文化を有している。これらの地域文化は社会的に高い評価を受けているばかりでなく、地区住民にとってはかけがえない精神的支柱であり、コミュニティ形成の基軸の一つとなっている。しかし、現状では、地域文化は消滅することを避けられない。</p> <p>このため、「外部の力」※1を借りて、地域文化の継承を図る。また、文化の継承のための仕組みづくりを通して、持続的なコミュニティを再構築し、同地区の精神的・経済的活性化を図ることを目指す。</p> <p>※1 ここでいう「外部の力」とは、石徹白地区出身者で構成される石徹白人会を中心とする人的ネットワークのこと。この中には、出身者ではないが、同地区に高い関心を持つ人々も含まれる。両者とも、地区に理解と愛着を持つ、将来にわたって持続的にコミュニティ活動に関わってくれる人たちを想定。</p>
今年度の主な取組	<p>石徹白地区には多様な地域文化があるが初年度の今年度は、地区内に50棟以上存在する歴史的建造物(多くが空き家)をテーマに活動を実施する。※2。</p> <p>① 地域資源として地域文化(今年度は歴史的建造物)が持つ価値を認識、共有化を図る。(対象:地区住民)</p> <p>② 地域文化の資源としての活用方策と地域文化維持方策の検討</p> <p>1) 地域資源全体の中での地域文化の位置づけの検討</p> <p>2) 地域文化の活用と維持システムの検討 (活用維持に必要な経済的活性化方策の検討と新たなコミュニティの仕組みづくりの検討)</p> <p>3) 交流居住につなげる「石徹白ファン」獲得への取組方策の検討</p> <p>③ 地域資源を活用した活性化策の実施(社会実験)</p> <p>「外部の力」と連携し、歴史的建造物の修復保全を実施、伝統的工法を学び記録する。住民と「外部の力」両者を対象に、歴史的建造物とそれを活用した地区の歴史や生活文化についての学習会等も併催。</p> <p>※2 石徹白地区は、白山信仰を全国に広めた「御師」集落で、特異な建築様式の建物が残されている。市では平成17年度に同地区の歴史的建造物と景観の基礎調査を実施(調査委託先:工学院大学・後藤治研究室/マヌ都市建築研究所)。結果、非常に高い価値があることが判明。しかし、これらの歴史的建造物は過疎化により空き家と化し、取り壊しの危機にあることから、地域文化を活用した地域コミュニティ創生活動の初年度取り組みとして、歴史的建造物を題材に実施する。</p>

活動結果	<p>本事業では、交通利便性も悪く、全国的な知名度も低い、中山間地域の過疎化に悩む典型的な小規模集落で、地域文化という地区の根幹にも関わることをモデルに、「外部の力」を借りて新たなコミュニティ再構築に挑戦した。特筆すべきは、誰でもいいというわけではなく、出身者など、地区の実情をよく知る人たちの力を借りて行ったことである。地区をよく知らない人が来て、地区の根幹やこれまでの自分たちの歩みを表わすようなコミュニティ活動に、一時的な熱、興味本位で参加されても、地区住民との間で弊害が生じることが多い。排他的、閉鎖的といわれようが、それが現実である。そのため、地区出身者や地域をよく知る「外部の力」を第一段階として利用してコミュニティの再構築を図ろうとしたことは、事業を円滑に進める大きな要因でもあったし、今後徐々に出身者以外からもひろく「外部の力」を求めてコミュニティ活動を行おうとした際には、汽水域的に必要な段階であったと考えている。</p>
当初予想していなかった効果	<p>「石徹白伊織家」のボランティア修繕・清掃を通じて、参加した出身者からは、「改めてふるさとのよさを実感した」「これからも何かの形で協力したい」との申し出が多く寄せられた。中には「仕事の関係があるから今は無理だがいつかは戻って来たい」と言う人もいた。今年度事業期間中に、具体的な二地域居住や移住は実現していないが、こうした影響を与えたということは大きな成果である。</p>
実施状況(写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">▲石徹白農村センターでの検討会の様子 ▲「石徹白伊織家」の修繕・清掃作業の様子</p>
応募団体名	石徹白地区地域づくり協議会
リンク	
部局／担当者名	会長 石徹白 剛
連絡先	(0575)86-3402
推薦市町村名	岐阜県郡上市